

祝

平成 29 年白河市成人式

特 集

きらり、はたち。

はたち。今を生きる喜びと未来に抱く希望一。

今月号では、初の4地域合同開催となった成人式の様子、そして将来の目標や夢に向かい歩む「きらり」と輝く二十歳のインタビューをお届けします。



平成29年白河市成人式
新成人 「誓いのことば」

本日は、成人を迎えた私たちの門出に際し、新しく開館しました白河文化交流館コミネスにおいて白河市長様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席のもと、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。心に染み入るお祝いや激励のお言葉を頂戴し、背筋が伸びる思いでした。新成人を代表して、心より感謝申し上げます。

今日、私たちがこうして成人式を迎えられたのは、これまで、広い心と深い愛情で支えてくれた家族はもとより、多くのご指導をいただいた先生方、私たちの成長を温かく見守ってくださった地域の方々、そしてかけがえない仲間達に出会え、ここまで成長することが出来たおかげだと思っています。

これからもこの感謝の気持ちを忘れず、日々成長していきたいと思っています。

私たちが過ごしてきた20年間には様々な事がありました。特に中学生のときに起きた東日本大震災は甚大な被害をもたらし、私たちは自然の恐ろしさを思い知らされました。しかし、全国の人達が復興を願い、支援して下さったおかげで現在では普段通りの生活を送ることができています。今を生きる喜び、友人、そして家族と過ごせることがどれだけ大切なのかを知ることができました。

本日の感激を胸に、成人としての自覚を持ち、社会人の一員として恥ずかしくないよう全力を尽くしていきたい



と思います。

私たちは、生まれ育った白河で、晴れてこの日を迎えることができ、心から嬉しく思います。

20年を振り返ると様々な思い出がよみがえり、多くの方々に支えられてきたことを痛感しました。これからの人生でも人との出会いと、思いやりの心を大切に生きていきたいと思っています。

今日は、新成人全員にとって新しい一歩を踏み出す特別な日です。まだまだ未熟で至らないところも多いと思いますが、成人としての責任を持ち、将来に向かって前進していきたいと思っています。

終わりに、新しい時代の担い手として、切磋琢磨し続け、まっすぐ未来に向かって生きていく決意を申し上げ、「誓いのことば」といたします。

平成29年1月8日

新成人代表 吉田 廉哉 (大信隈戸)
穂積 彩花 (中島)

初の4地域合同開催
希望を胸に大人の一步を踏み出す



▲コミネス大ホールで行われた式典の様子

4地域の新成人がコミネスに集い成人の誓いを胸に刻む

平成17年の4市村合併以降、初めて4地域合同での開催となった「平成29年白河市成人式」は1月8日、白河文化交流館コミネス大ホールで行われました。

今年の新成人は、平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの734人（白河地区564人、表郷地区66人、大信地区42人、東地区62人）で、そのうち586人が式に参加しました。

式典では、市長が「科学技術が進展しても、最後に重要になってくるのは人間の感性になる。ぜひ、様々な文化・芸術、そして人に触れ、自分の感性を育ててほしい」と式辞を述べ、新成人へ成人証書を授与しました。続いて、議長からの祝辞があり、新成人代表の2人が、「誓いのことば」を述べました。

第2部では、中学校時代の恩師28人からお祝いの言葉が贈られ、その後抽選会が行われました。

参加者は、未来への希望を胸に、晴れやかな表情で大人としての第一歩を踏み出しました。白河で生まれ育った新成人たちの今後の活躍が期待されます。



1. 華やかな振り袖姿で記念写真を撮る新成人たち
2. 友人との再会を喜ぶ姿
3. お祝いと激励のメッセージを贈る中学校の恩師
4. 抽選会にはダルライザーが登場

'97年		'96年		日本の出来事
3月	2月	7月	4月	
秋田新幹線「こまち」が運行開始	安室奈美恵の「CAN YOU CELEBRATE」が発売され大ヒット	海の日施行	東京ビックサイト（東京国際展示場）が開場	
	11月 バンダイが携帯ゲーム機「たまごっち」を発売	9月 野茂英雄がメジャーリーグで日本人初のノーヒットノーランを達成	有森裕子がアトランタオリンピックで銅メダルを獲得	

'96年				白河市の出来事
12月	10月	7月	4月	
サンフレッシュ白河が完成（白河）	東中学校舎移転新築工事着手（東）	大信リゾート・白河ゴルフ倶楽部がオープン（大信）	わかば保育園が開園（白河）	
		五箇中新校舎が完成（白河）	屋内ゲートボール場「すばく表郷」がオープン（表郷）	

新成人が生まれた1996年（平成8年度）の主な出来事



1. 式典の司会を務めた山崎滉介さん（旭町）と松木華美さん（北堀切）
2. 真新しいスーツに身を包み式典に臨む新成人たち
3. 成人証書を授与される角田秀喜さん（久田野）と白岩翔子さん（東形見）



夢は作業療法士
思いやりの心を育てたい

三森 優伽さん (東上野出島)

「作業療法士になり、病气や障がいをもつ方が、自分らしく生活できるようサポートしたい」と話す三森さん。

高校の部活動で膝を痛めたときに、そっと寄り添い治療をサポートしてくれた理学療法士の姿に感銘を受け、リハビリテーションの分野に興味を持ちました。

現在は、日常生活の動作を支援・援助する作業療法士の国家資格を取得するために大学へ通っています。「大学では専門的な科目が増え、覚えることも多く大変ですが、臨床現場で実践できるよう頑張っています。患者さんに関わるうえでは、信頼関係を築くことが重要なので、普段から周囲への気遣いや思いやりの気持ちを大切にしています」と将来の目標に向かい、しっかりと歩み出しています。

「今、恵まれた環境で生活でき、精いっぱい好きなことをできているのは、全て家族のおかげです」と、



成人式では家族に 20 年間の感謝の気持ちを伝えました。

人との出会いや思いやりの心を大切に、素直に夢を語る笑顔は、キラリ、と輝いていました。



大好きな家族に感謝
社会人として成長したい

浅道 結花さん (大信限戸)

「家族には 20 年間、感謝の気持ちしかありません。普段は言えないけど、本当に大好きです」と、素直な思いを話してくれた

浅道さん。

今回、成人式実行委員の一人として成人式の準備に携わりました。「成人式の準備を進めていくことで、大人になる自覚と実感が強くなりました。一生に一度しかない成人式を 4 地域の実行委員の仲間と作り上げられたことがとても嬉しいです」と、成人式の運営に関わられた喜びを教えてくださいました。

市内の会社で働く浅道さんは、工場内の製造スタッフとして、製品の品質管理に関するデータ入力や、職員の勤務時間の集計など、責任ある仕事を任されています。「正確さが求められる大変な仕事ですが、丁寧に一生懸命取り組んでいます。今の目標はきちんとした社会人になることです。まだ至らないところも多いで



すが、少しでも早く一人前になれるよう頑張ります」と真剣に仕事に向き合う様子からは、自分の理想とする社会人になるための、ゆるぎない信念が感じられました。



夢は消防士
地域に貢献したい

穂積 宏哉さん (表郷番沢)

「将来は消防士になって、地域に貢献したい」と話してくれた穂積さん。

消防士を目指すきっかけとなったのは中学 2 年生の時に経験した東日本大震災でした。たくさんの方が被災して困っている状況を見て、「自分にも何かできるのではないかと、自分も人を直接助けたい」と思う気持ちが生まれ、その時から人の役に立てる仕事に就きたいと考えていました。

高校では 3 年間、野球部に所属し、3 年生の時にはキャプテンも務めました。「厳しい練習に耐えられたのは両親が支えてくれたから」と、健康で丈夫な体に育ててくれた両親に感謝しています。

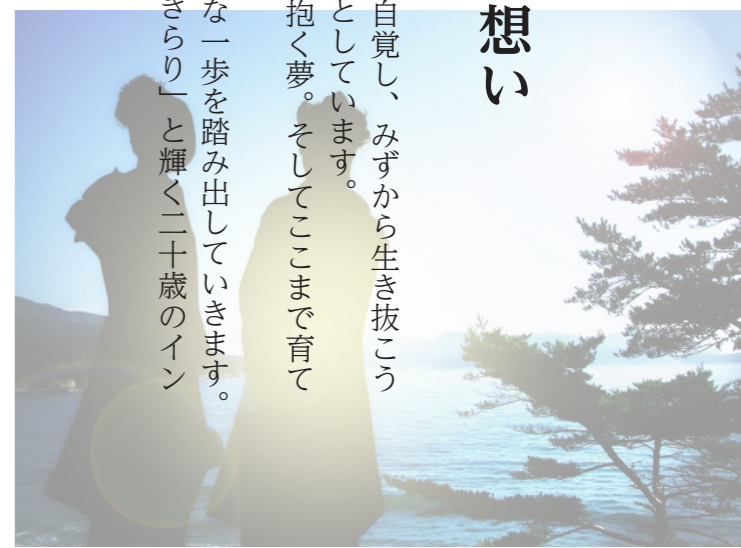
現在は、白河を離れ大学で社会福祉を学んでいます。また、大学の授業とは別に、消防士になるための試験対策講座にも積極的に出席しています。「自然災害が起きた時、耳の聞こえない方など体の不自由な方が



どうしたら迅速に避難できるか、大学での講義を聞いて日頃から考えています」と真剣に話す様子から、夢を叶え、白河で活躍する穂積さんの姿が目に見えました。

大人としての新たな旅立ち
未来を担う新成人の想い

成人の日とは「大人になったことを自覚し、みずから生き抜こうとする若者を祝い励ます」ことを趣旨としています。大人としての自覚をもち、新成人が抱く夢。そしてここまで育ててくれた家族への想い。
今、将来の目標や夢に向かい、新たな一歩を踏み出していきます。喜び、感謝、そして誓いを胸に、「きらり」と輝く二十歳のインタビューをお届けします。



My dream

新成人が抱く夢。
そして夢のために頑張っていること。
新成人の皆さんの夢をボードに書いてもらいました。

見方：氏名/出身中学校/現在の住まい
①感謝を伝えたい人
②夢のために頑張っていること



もんま ともや
門馬 智也さん
東中/大
①両親
②接客業務



つのだ ひでき
角田 秀喜さん
東北中/久田野
①母
②大学の勉強



おおひら れい
大平 怜依さん
白二中/みさか
①両親
②自分磨き



たかはし とうま
高橋 冬馬さん
東中/仙台市青葉区
①学校の先生、高校の先輩、友人
②勉強

新成人の皆さんへ

1 月 8 日に開催した成人式に出席できなかった方の「成人証書」を保管しています。受け取りを希望する方はご連絡ください。

▶保管期間 3 月 31 日(金)まで

☎本庁舎文化振興課 内2383

成人式を企画、運営した
実行委員の想い

白河市では、新成人自らが成人式を企画、運営しています。今年の実行委員は 24 人。そのメンバーの中心となり、式典を成功させた実行委員長に話を聞きました。

地域の人たちの温か
さを感じました



平成29年白河市成人式
実行委員長
杉原 駿勇さん (高山)

生まれ育ったこのまちで、一生に一度しかない式典に関わる事ができて私自身、感謝と喜びの気持ちでいっぱいです。

中学校で生徒会を務めた経験から、行事運営には興味があり、実行委員に誘われた時には「イベント運営に関われる最後のチャンス」と思い、引き受けました。

今回の式典は、初の 4 地域合同での開催となり、以前より規模の大きい式典になりました。各地域から集まった実行委員のサポートのおかげで、無事に委員長の務めを全うすることができました。

また、式典の第 2 部、実行委員で企画した抽選会のために、商品をご提供くだ

さった商店街の方や市内企業の皆様には大変感謝しております。

私たち新成人は、自分の力だけではなく、家族や地域の人たちに支えられ今まで歩んできました。成長した私たちを見ていただき、喜んでもらえるのもうれしかったですが、式典に協力して下さった様々な方を通し、地域の人たちの温かさを感じられたことが一番の喜びでした。

今回、たくさんの方にご協力いただき式典を成功させることができました。いつか私も生まれ育ったまちのために貢献できるように自分の目標や夢に向かい、努力していきたいと思ひます。



1. 会場に思い出写真を掲示する様子 2. 会場となるコミネスを下見する様子 3. 委員長を中心に話し合う実行委員